

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ひなたぼっこ・向横田

目標達成計画

作成日: 平成 21年 10月 31日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	同業者との交流 他のグループホーム職員との交流研修会が年2回開催され参加しているが、他施設訪問交流は計画されていない	職員が年1回は他施設を見学するよう計画する。他施設からも来ていただき意見交換をする	同じテーマを持って、まずは県内の他グループホームを職員が年1回1施設を見学させてもらい、情報を持ち寄り検討し、よい取り組みは取り入れていくようにする(3月24日報告会開催)	22年3月まで
2	15	記録の開示 家族からの要望があれば、開示する姿勢であり積極的開示の姿勢ではない	家族からの要請を待つのではなく、ホーム側から積極的に開示していく	家族の方の面会時、家族会するとき、ケアプランの見直しなどの機会を捉えてホームから積極的に記録を見ていただくようアプローチしていく	21年11月から
3	26	鍵を掛けない工夫 現在は入居者の状況により、日中鍵を解放しておくことは不可能な状態である	出来るだけ施錠しない時間が取れるよう、工夫をしていく	・見守りボランティアの協力要請意識された外出希望には殆ど意に添えているが、いつとなく建物外に出ようとされる方に対しては無理やりな制止ではなく、見守りボランティアの方の協力などで柔軟に対応し、安全という面からやむなく施錠しなければならないとしても精神的に閉塞感のないようにケアしていく。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。